

平成29年4月14日
受信環境クリーン中央協議会

電波障害防止に関する功労者の表彰について

— 個人4件、団体1件に対し —

受信環境クリーン中央協議会（会長：竹田義行 一般財団法人情報通信振興会理事長）は、電波障害防止に関し、顕著な功労のあった次の個人及び団体に対して表彰を行うこととしました。

なお、表彰式は、来る4月19日（水）午後5時15分からKKRホテル東京「孔雀の間」で行う予定です。

【個人】

（順不同、敬称略）

氏名	職業	実績の概要
やまだ つねき 山田 恒喜	(株)生田電機設備商 会 会長	昭和53年以来、東北・上越新幹線建設及び北陸新幹線建設に伴うテレビ受信障害共聴施設工事に従事したほか、東北・上越新幹線建設に伴うテレビ受信障害共聴施設を地上デジタル放送に対応させるために、東日本旅客鉄道から業務の委託を受けた日本電設工業(株)の協力会社の一員として、首都圏エリアの統轄責任者の立場で、地上デジタル放送の受信状況調査、沿線住民との補償業務等に尽力した。また、首都圏エリアの駅ビル等の建設に伴うテレビ受信障害共聴施設の地上デジタル放送化への改修にも従事するなど、地上デジタル放送への完全移行に貢献した。
しのだ えいじ 篠田 英二	サン電子(株)代表取 締役社長	昭和51年にサン電子(株)に入社し、以来、建造物によるテレビ受信障害対策工事など様々な受信対策工事に携わる。平成24年、一般社団法人日本CATV技術協会副理事長、事業推進委員会委員長、関東支部支部長に就任後は、デジタル放送周波数再編対策、デジタル混信対策、東京スカイツリー移行対策などに関東支部長として支部会員を取り纏め積極的に対応する等テレビ受信障害改善の普及・向上に貢献した。
やまだ ともかず 山田 奉一	前(一社)日本CAT V技術協会 北海道 支部事務局長	昭和42年に株式会社三新に入社以来、放送通信設備工事を通じて放送電波の安定送出に寄与。平成14年から一般社団法人日本CATV技術協会北海道支部総務部長、平成18年から同支部副支部長、また平成23年11月から平成28年3月まで同支部の事務局長を務めた。この間、同支部の活動を通じ、建造物等によるテレビ受信障害の事前予測調査の円滑な推進及び対策工事に関わる技術者の養成に努め、北海道内における建造物等によるテレビ受信障害の未然防止と良好なテレビ受信環境の確保に寄与した。

<p>こんの まさひろ 今野 正裕</p>	<p>今野電気</p>	<p>日本放送協会の受信相談員及び宮城県内の放送事業者の障害調査担当として、アナログ放送からデジタル放送まで宮城県内及び周辺地域のテレビ・ラジオ放送の電波障害調査を実施し放送の安定受信に向けた積極的な取り組みは協議会活動に大きく貢献している。</p>
---------------------------	-------------	---

【団 体】

氏 名	実績の概要
<p>(独)鉄道建設・運輸施設整備支援機構 東京支社、大阪支社、富山工事事務所</p>	<p>長野県長野市から石川県金沢市に至る北陸新幹線建設に際し、沿線住民の電波受信環境確保のため、電波障害防止の社会的重要性を深く認識し、建設後の構造物及び列車走行によるテレビ電波受信障害を事前に調査・予測してその対策を実施した。 これにより、沿線住民の十分な理解と協力を得て、新幹線開業後のテレビ電波受信障害の積極的な解消に努め、電波障害対策の推進に大きく貢献した。</p>

<参 考>

受信環境クリーン中央協議会では、本件表彰を昭和34年（1959）から毎年実施しており、今回で59回目となります。

連絡先：受信環境クリーン中央協議会 事務局
（一般財団法人情報通信振興会内）
（電話03-3940-3981）